2019Japan National Team Report ”監督”

報告者氏名	東道　雅彦
大会名	2019 IODA European Championship
開催地	Crozon-Morgat, France
大会期間	2019年6月22日～6月29日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要です（ 文中に貼り付けて下さい ）
  2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	東京・羽田空港　→＜エールフランス0293便　22:55発・4:35着＞→パリ・シャルルドゴール空港　→＜エールフランス7736便　9:15発　10:30着＞→ブレスト空港→＜大会手配のミニバン約1時間＞→現地 ＊ 選手の負担を減らすため、パリで空港間の移動がない便を選びました。
旅行代理店	利用しませんでした。航空券はエールフランスの公式HPで購入しました。
渡航費用	航空券 約20万円 / 1人（出発地により約17万円～20万円） ミニバン（ブレスト空港⇔現地）　EUR 120 / 1台（6人分） ボイド管運送費用　約3万円　/ 1本 × 2本＝約6万円（但し、往路のみの支払。本来は、帰路も必要なはずでしたが、ブレスト空港では請求されませんでした。）
エントリー料	※　実際に支払った通貨で記入して下さい EUR 595/ 1選手　　EUR 635 / 大人1人
一人当たりの宿泊費用	大会期間中の宿泊費はエントリーフィーに含まれていましたが、ルームクリーニング費用として、別途EUR 80支払いました。 また、事前到着日1泊分EUR 202については別途宿泊施設に直接支払いました。
その他食料費	約5万5000円
チャーター料金	OP　 EUR 380 / 1 艇（大会期間中） EUR 40 / 1艇 （事前練習1日当たり） RIB　 EUR 1600 / 1 艇 （大会期間中。シンガポールチームとシェアしたので負担は半額。） EUR 200 / 1艇 （事前練習1日当たり）
大会本部の対応	フレンドリーかつ的確に対応頂きました。 開会式・閉会式・レセプションとも、華美ではないものの選手たちが十分に楽しめるものであり、好感が持てました。 英語が通じないスタッフが居たため、事前のメールでのやりとりや現地でのコミュニケーションにやや苦労しましたが、結果的に大きな問題はありませんでした。
チームリーダーミーティングの様子、内容	特段変わったことはありませんでした。出艇・帰着の申告をチームリーダー（監督）がまとめて行うこととされている点が普段の日本のレースとは異なっており、実際に帰着申告を忘れてペナルティを受けたチームもあったようです。

選手達の様子で気をつけたこと	海外遠征の経験がある選手が多かったため、できるだけ選手の自律性を尊重するよう努め、コーチの指導に委ねました。選手たちはしっかりと自分をコントロールしており、逸脱行動などはありませんでした（逆にもっと元気でもよいかと思うくらいでした）。後半は、選手たちに次第に疲れが見えてきたことや食欲がやや減退した様子が見受けられたので、十分な睡眠と日本食を摂るように勧めました。
食事はどうでしたか	朝食:　パン、ハム、チーズ、ヨーグルト、ジュースなどをチーム毎にまとめて受け取る形式 昼食:　大会側から支給されるフランスパンのサンドイッチ 夕食:　大会側指定のレストランでチーム毎に食事。メニューは日替り 提供された食事はいずれも質・量ともにまずまずでしたが、選手たちは日が経つにつれて日本食が恋しくなったようです。
セキュリティーなどで気をつけたことはありましたか。	コーチ１名、保護者１名の布陣であったため、目が届くよう日本と現地の往復は全員一緒に行動しました。 宿舎は静かなリゾート地のロッジのようなところで関係者のみの宿泊であったため、特にセキュリティー上の問題はありませんでした。選手のパスポートはまとめてコーチの方で預かって保管して頂きました。
荷物に関して工夫したこと	セールを４人分まとめてボイド管に入れる、各自１個のスーツケースに加えて2つめのスーツケースは２人で共有するなどして荷物を減らすよう心掛けました。
日本との通信状況、手段	日本から持参したモバイルWifiルータ（郊外だったためか通信速度に難あり） 日本の携帯電話キャリアの海外ローミング・プラン（特に問題なし） 日本に残った保護者とは、出発から帰国までLineでタイムリーに情報共有を行うことができました。
他国チームとの国際交流の実施	選手たちは、開会式、2日目の風待ちの時間、閉会式、宿舎などで交流を楽しんでいました。食事・入浴・ミーティングが終わると夜10時を回るという生活であったため、宿舎では余り交流できなかったように思います。
持参してよかった食品、医療品等	「できるだけ現地の食べ物を食べて持ち込む食品を最小限にしよう」という（保護者の）コンセプトは見事に失敗しました。パックの白飯は必須です。連日のサンドイッチ攻撃に辟易とした選手には、朝からご飯、昼はおにぎりというのがありがたいようでした。 男の子（特に若年者）には日本のハチマキが大人気です！１０本くらいすぐなくなってしまう勢いでした。
次回参加者へアドバイス	是非積極的に楽しまれることをお勧めします。比較的若年者の参加が多く、和気あいあいとした雰囲気の大会でした。男女が別れていることも女子選手にとっては自分の力を試すよい機会となると思います。
JODAへの要望	特にありません。このような貴重な機会を与えて頂き、選手・保護者一同大変感謝しております。
その他	フランスへの送金時に、フランスの金融機関側で手数料3.8ユーロが引き落とされるため、その分追加送金する必要がありました（送金手数料の方が高いという事態に）。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会

[redacted]

[redacted]